

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長岡京市長岡2丁目新築工事	階数	地上13F
建設地	京都府長岡京市長岡一丁目439番3	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・準防火地域	平均居住人員	192人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年5月 予定	評価の実施日	2026年●月●日
敷地面積	1,341 m <sup>2</sup>	作成者	戸谷 晴彦
建築面積	502 m <sup>2</sup>	確認日	2026年●月●日
延床面積	4,558 m <sup>2</sup>	確認者	戸谷 晴彦

外観ベース等  
 図を参照してください  
 詳細の図面をダウンロードしてください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価結果 (レダークチャート)
<p>BEE = 1.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算                  ①参照値 100%                  ②建築物の取組み 59%                  ③上記+②以外の 59%                  ④上記+ 59%</p>	<p>3(保健) N/A                  4(教育) N/A                  5(シニア) N/A                  6(水・衛生) N/A                  7(エネルギー) N/A                  8(経済・雇用) N/A                  9(イノベーション) N/A                  11(都市) N/A                  12(生産・消費) N/A                  13(気候変動) N/A                  15(陸上資源) N/A                  17(実施手段) N/A</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質 <b>Qのスコア = 3.1</b>		
<p>Q1 室内環境 <b>Q1のスコア = 2.7</b></p>	<p>Q2 サービス性能 <b>Q2のスコア = 3.2</b></p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) <b>Q3のスコア = 3.5</b></p>
LR 環境負荷低減性 <b>LRのスコア = 3.4</b>		
<p>LR1 エネルギー <b>LR1のスコア = 3.7</b></p>	<p>LR2 資源・マテリアル <b>LR2のスコア = 2.9</b></p>	<p>LR3 敷地外環境 <b>LR3のスコア = 3.7</b></p>

3 設計上の配慮事項		
総合	住居として長く快適に生活できるよう生活環境の安心・安全・耐久性に配慮した	
その他	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
通気性、化学汚染物質に配慮した	CAT-6Aの高速度伝送LANケーブルのより機能性を向上させた	まちなみ・景観に配慮して、植栽やまちなみに合った色彩を使用しバランスよく調和させた
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の外皮の熱負荷の配慮した 設備システムの効率化に配慮した	特になし	ホールライフカーボン排出率を抑制し地球温暖化へ配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の詳細結果から自動的に算出される

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長岡京市長岡2丁目新築工事	階数	地上13F
建設地	京都府長岡京市長岡一丁目439番3	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・準防火地域	平均居住人員	192人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年5月 予定	評価の実施日	2026年●月●日
敷地面積	1,341 m <sup>2</sup>	作成者	戸谷 晴彦
建築面積	502 m <sup>2</sup>	確認日	2026年●月●日
延床面積	4,558 m <sup>2</sup>	確認者	戸谷 晴彦

外観ベース等  
 両方とも評価対象外  
 レーダーの掲載を省略させていただきます

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 59%</p> <p>③上記+②以外の 59%</p> <p>④上記+ 59%</p> <p>このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。                  ④は参考として運用分をBEI+で表示しています。</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質 <span style="float:right">Qのスコア = 3.1</span>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.5</p>
LR 環境負荷低減性 <span style="float:right">LRのスコア = 3.4</span>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.7</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	住居として長く快適に生活できるよう生活環境の安心・安全・耐久性に配慮した	その他 特になし
Q1 室内環境	遮音性、化学汚染物質に配慮した	Q3 室外環境 (敷地内) まちなみ・景観に配慮して、植栽やまちなみに合った色彩を使用しバランスよく調和させた
LR1 エネルギー	建物の外皮の熱負荷の配慮した 設備システムの効率化に配慮した	LR2 資源・マテリアル 特になし
		LR3 敷地外環境 ホールライフカーボン排出率を抑制し地球温暖化へ配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される